

エンスプリングを自己注射される
患者さんご家族の方へ

エンスプリング[®] 皮下注120mgシリンジ 皮下注120mgオートインジェクター 自己注射ガイドブック

監修：東北医科薬科大学 医学部 脳神経内科学 教授
中島 一郎 先生

エンスプリングの 自己注射をはじめられる 患者さんにご家族の方へ

このガイドブックは、エンスプリングを処方されている患者さんもしくはそのご家族の方にエンスプリング皮下注120mg(オートインジェクター、シリンジ)を適切かつ安全に使用していただくための手順とポイントを解説しています。

1回1本の注射を、主治医に指定された日に注射してください。

自己注射について、不安なことやわからないことなどがありましたら、主治医、看護師または薬剤師にご相談ください。

オートインジェクター P4

注射の前に	P4
注射のしかた	P9
廃棄	P15
注射が終わったら(注射の記録)	P16

シリンジ(注射器) P18

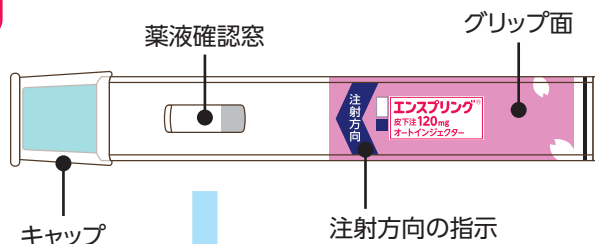
注射の前に	P18
注射のしかた	P23
廃棄	P29
注射が終わったら(注射の記録)	P30

よくあるご質問 P31

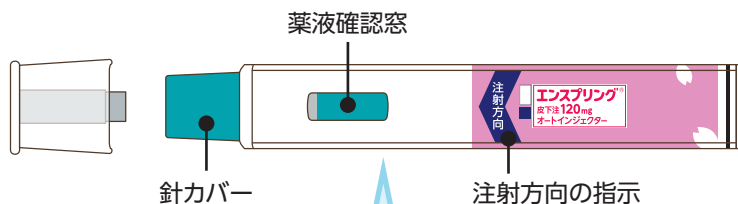
オートインジェクター・シリンジ共通	P31
オートインジェクター	P32

オートインジェクターの名称と取扱い事項

注射前



注射後



針が針カバーに隠れ、薬液確認窓が緑色に変わります。

- 注射の準備ができるまで、キャップを外さないでください。
- オートインジェクターには、針カバー(針刺し防止機能)が付いており、針は内部に格納されています。

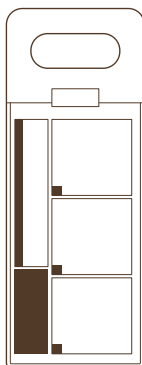
注射に必要なもの

- オートインジェクター
- 廃棄袋
- 消毒綿
- エンスプリング治療ダイアリー

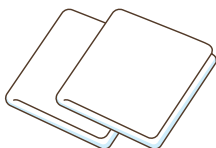
● オートインジェクター



● 廃棄袋



● 消毒綿



● エンスプリング治療ダイアリー



医療機関から支給されない場合は主治医または看護師にご相談ください。

お薬の保管



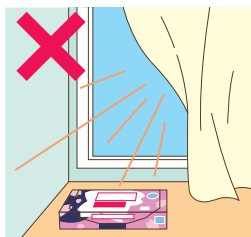
2~8℃



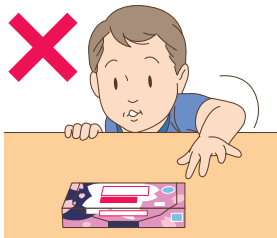
- 病院から帰宅後、お薬を箱のまま2~8℃の冷蔵庫内に入れてください。冷蔵庫内では遮光のため箱のまま保管し、注射するときに箱から取り出してください。

- 室温で保存する場合は30℃を超えない場所で保存し、累積8日以内に使用してください。
- 冷凍庫での保管は禁止です。オートインジェクター内の薬液が凍った場合には、使用しないでください。冷蔵庫で保管する場合にも、冷気の吹き出し口付近には置かないようにしてください。

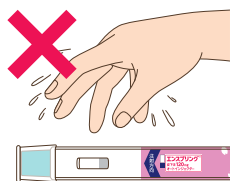
保管に関する注意



オートインジェクターに、直射日光を当てないようにしてください。

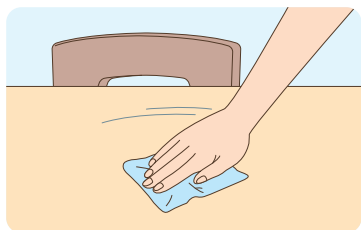


特に小さなお子さんが触らないように注意をしましょう。
オートインジェクターが冷蔵庫内に保管されていることをご家族全員に伝えておきましょう。



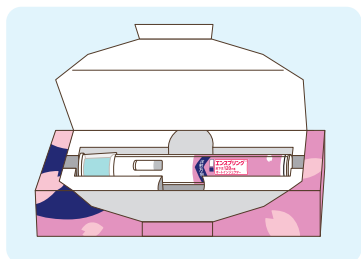
オートインジェクターは濡らさないでください。

注射の準備



1

明るい場所で安定したテーブルを使い、テーブルの表面を清潔にします。



2

オートインジェクターの入った箱を冷蔵庫から取り出し、箱から出して、テーブルの上に30分間置き、室温に戻します。

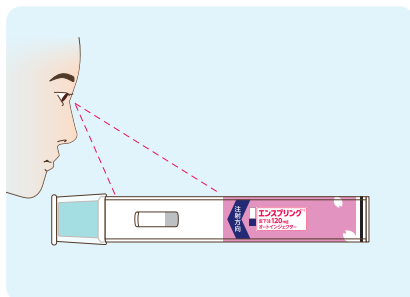


- 箱の側面に記載されている使用期限を確認します。使用期限切れのものは使用しないでください。
- オートインジェクターを室温に戻すスピードを速めるために、電子レンジや温水などを使用しないようにしてください。



3

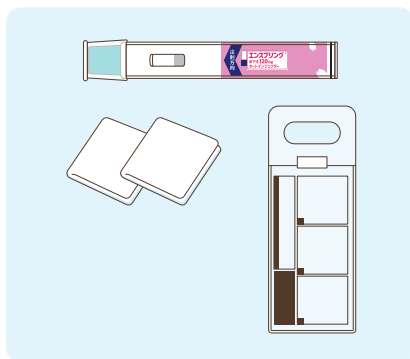
両手を石鹸で十分に洗い、清潔なタオルで拭きます。



4

室温に戻したら、オートインジェクターをよく点検確認します。

- オートインジェクター内の薬液の色は、無色または薄い黄色です。薬液が濁っていたり、変色していたり、粒子や塊が見える場合は、オートインジェクターを使用せず、医療機関に連絡してください。
- オートインジェクター内に気泡が見えることがありますが、問題ありません。
- オートインジェクターに損傷がないか確認し、ひびや破損がある場合は、医療機関に連絡してください。
- 薬液確認窓から緑色の確認バーがみえていないことを確認してください。

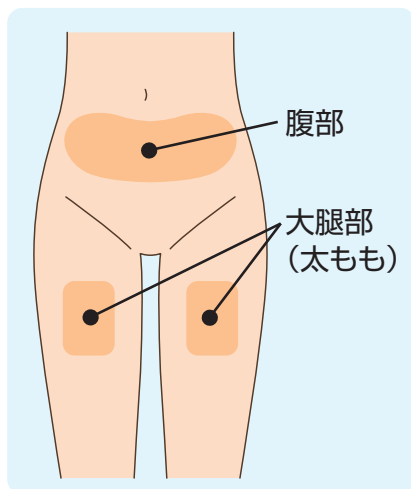


5

テーブルに自己注射に使用する器具一式を並べます。オートインジェクター、消毒綿、廃棄袋が揃っているかを確認します。

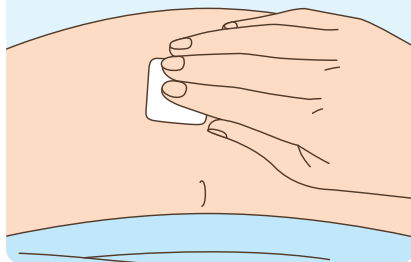
注射する部位の確認と消毒

- 前回と同じ場所には注射せず、腹部に注射する場合はへそから5cm以上離れた場所に注射してください。
- 皮膚が赤い、傷がある、硬くなっている部位には注射しないでください。



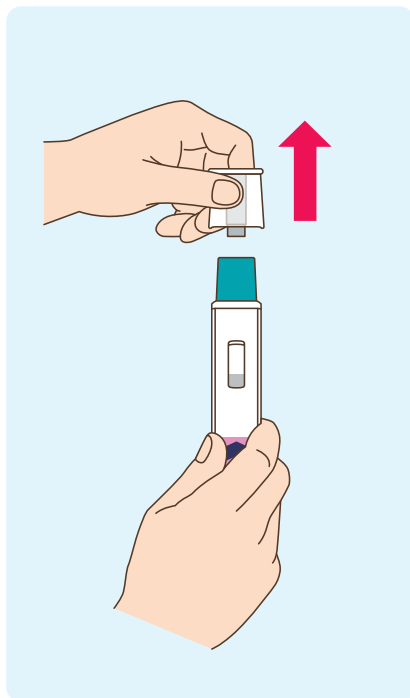
「腹部」または「大腿部(太もも)」のどちらかに注射します。どこに注射するのは主治医または看護師の指示に従ってください。

お腹への注射例



注射する部位とその周辺を、消毒綿で十分に消毒します。消毒したところは、注射するまで手を触れないでください。

注射

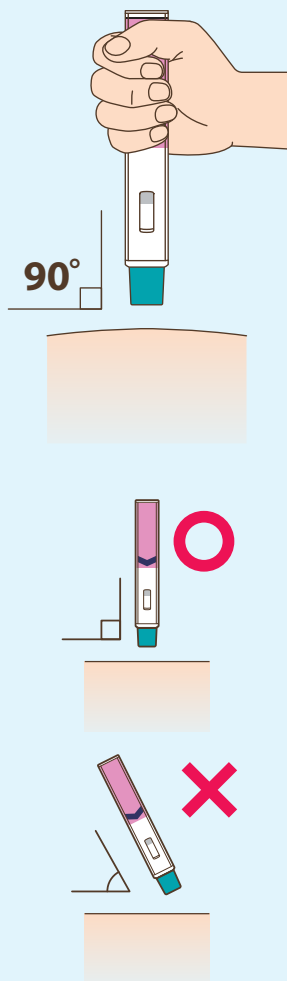


1

キャップを上に向けてオートインジェクターを持ちます。

次に、オートインジェクター本体の中心部を持ち、キャップをまっすぐに引き抜きます。

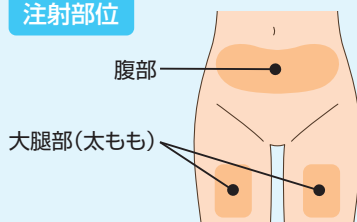
- 緑色の針カバーに触れないでください。
- キャップを外したら、速やかに投与してください。
- 針刺し事故を防ぐため、キャップを外したら、再度キャップをはめないでください。
- オートインジェクター内に気泡が見えることがありますが、問題ありませんので気泡を取り除こうとはしないでください。
- 針の先端に薬液の水滴が見えることがありますが、問題はありません。



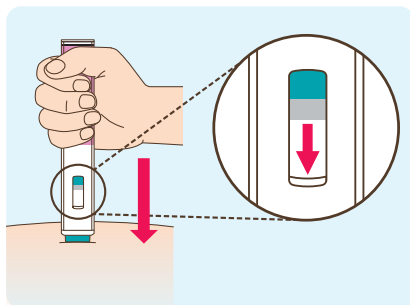
2

注射方向を確認し、薬液確認窓がみえるようにオートインジェクターを正しい方向で持ちます。緑色の針カバーを下に向けて、オートインジェクターを皮膚に平らに当てます（皮膚に対して90度）。

注射部位



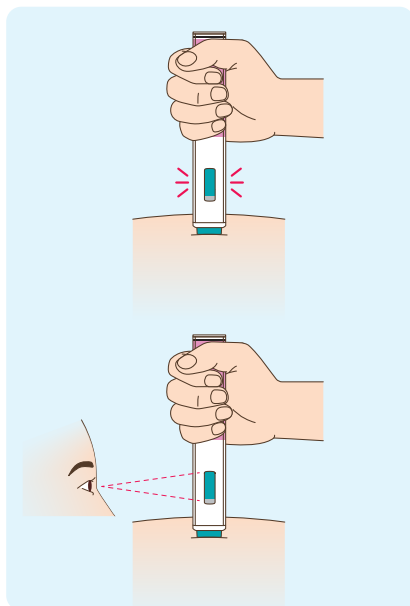
- 前回と同じ場所には注射せず、腹部に注射する場合はへそから5cm以上離れた場所に注射してください。
- 皮膚が赤い、傷がある、硬くなっている部位には注射しないでください。



3

オートインジェクターを投与部位にしっかり押し付け、「カチッ」と音がしたら、薬液の注入が開始されます。緑色の確認バーが薬液確認窓内を下に移動します。

- 「カチッ」の音が聞こえにくい場合は、緑色の確認バーが下に移動するのを見てください。
- 確認バーが動いている間は、オートインジェクターを投与部位から離さないでください。
- 投与中は、オートインジェクターの角度を変えないでください。

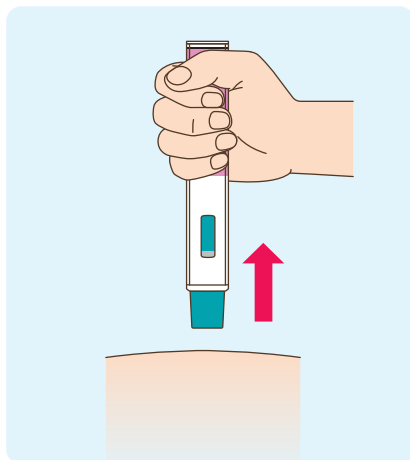


4

オートインジェクターをしっかり押し付け続けます。再度「カチッ」と音が聞こえ、緑色の確認バーが下がり、動きが止まっていることが確認できたら、投与完了です。

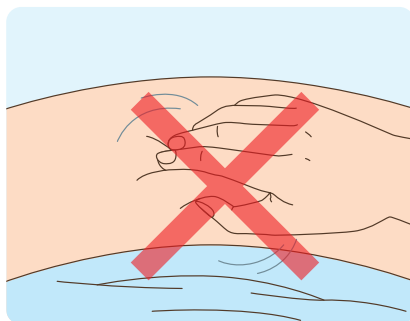
- 確認バーが下がっていない場合、全量を投与できていない可能性があるため、オートインジェクターを廃棄袋に捨て、主治医または薬剤師に連絡してください。





5

緑色の確認バーの動きが止まったら、オートインジェクターを投与部位から離します。注射が完了すると、緑色の針カバーがロックされ、針が内部に格納されます。



6

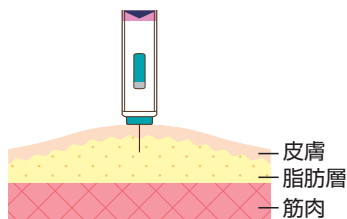
注射部位を新しい消毒綿で押さえます。注射した部位をもむと腫れることがあるので、もまないでください。

- 必要であれば、小さな絆創膏で注射部位を覆ってください。
- 薬液が皮膚に触れた場合には、薬液に触れた部分を水でよく洗い流してください。
- もし、腫れが引かない、出血が止まらないなどの異常がみられたら、医療機関へ連絡してください。

オートインジェクター 自己注射のポイント

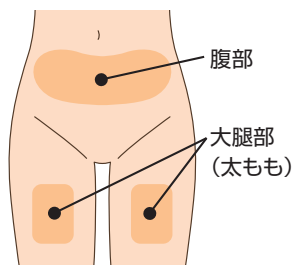
皮下注射

皮下注射とは、皮膚と筋肉組織の間にある脂肪層に行う注射です。皮下注射に適している部位は、たるみがあって柔らかく、関節や神経、血管、骨などから離れているところです。



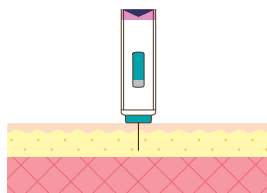
注射部位

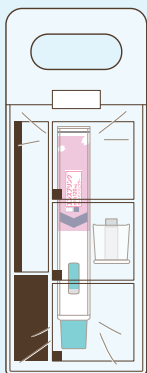
エンスプリングの臨床試験では「腹部」と「大腿部」に投与されており、右記部位を推奨しております。具体的な注射部位は主治医または看護師の指示に従ってください。



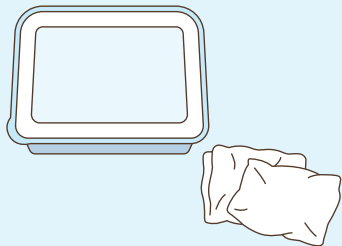
投与角度のイメージ

緑色の針カバーを下に向けて、オートインジェクターを皮膚に対して90度の角度で当てます。





オートインジェクターは再利用できません。使用済みのオートインジェクターは、使用後廃棄袋に捨ててください。オートインジェクターは家庭ごみとして捨てないでください。使用済みのオートインジェクターを入れた廃棄袋は、エンスプリングを処方された医療機関の指示に従って廃棄してください。



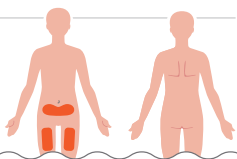
使用済みの消毒綿は、エンスプリングを処方された医療機関の指示が特にない限り、家庭ごみとして各市区町村の収集方法に従って捨ててください。

- 使用済みのオートインジェクターは医療廃棄物です。エンスプリングを処方された医療機関の指示に従って廃棄してください。取り扱いには十分注意してください。ご家族、特に小さなお子さんが触らないようにご注意ください。
- 針刺し事故を防ぐため、キャップはオートインジェクターに戻さず、そのまま廃棄袋に入れてください。

体調をチェックし、 注射の記録をしておきましょう。

注射が終わったら、注射した日時と注射した部位を、治療ダイアリーに記録します。この記録により、次回の注射予定日や注射部位を確認することができます。注射前後の体調も忘れずに記録しておきましょう。自己管理に役立つだけでなく、主治医にとっても治療の経過を正確に把握する上で、重要な情報となります。なお、自己注射を実施している場合でも定期的に医師の診察を受ける必要があります。通院時には治療ダイアリーを持参してください。

・注射した日	2022 年	4 月	6 日
・体 温	36.8 度		
☐ 咳・鼻水など風邪のような症状 ☒ 吐き気や下痢、腹痛などの症状 ☐ 排尿時トラブル(痛み、残尿感、回数増加など)			
注射当日の体調はいかがですか? (上記以外の症状があれば直接記入してください)			
①と⑤の症状がありました。			
今回はどこに注射しましたか? ×印をつけてください			
痛みや感覚障害がありましたか? その部位に印をつけてください			



- 注射後、体調に変化があったら、すぐに医療機関にご連絡ください。息苦しさ、めまい、かゆみ、発疹、吐き気、嘔吐などが発現する可能性があります。
- 自己注射を実施している場合でも、体調の変化を確認し適切な治療を行うために、定期的に医師の診察を受けることが必要です。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

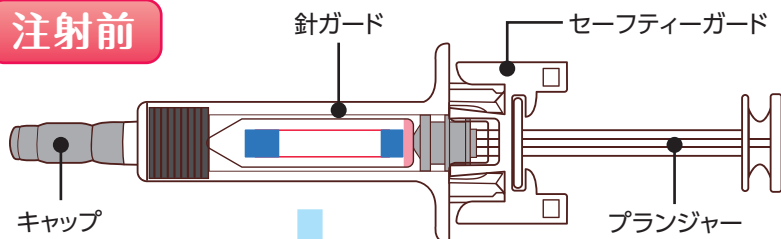
.....

.....

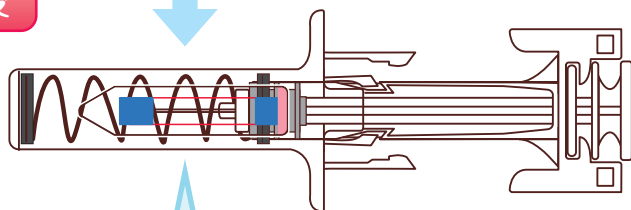
.....

シリンジ(注射器)の名称と取扱い事項

注射前



注射後



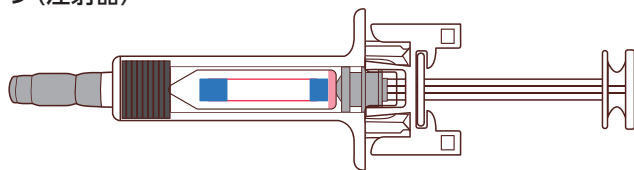
針が針ガードに隠れプランジャーが固定されます。

- 注射の準備ができるまで、キャップを外さないでください。
- プランジャーを押すと薬液が出ます。
※注射を開始するまでは、プランジャーを含むシリンジの後方部分に触れないでください。
- シリンジには、針ガード(針刺し防止機能)が付いていて、注射後は針が内部に格納されます。

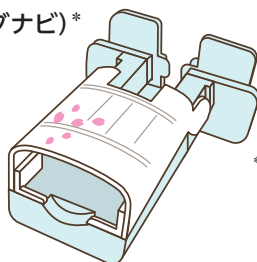
注射に必要なもの

- シリンジ(注射器)
- 注射補助具(スプリングナビ)*
- 廃棄ケース
- 消毒綿
- エンスプリング治療ダイアリー

- シリンジ(注射器)

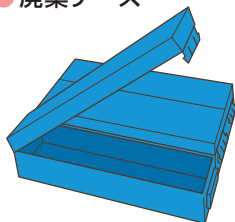


- 注射補助具(スプリングナビ)*

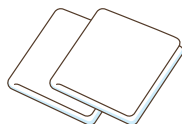


* 必要な患者さんのみ医療機関から提供されます。
注射補助具の使用方法については28ページをご覧ください。

- 廃棄ケース



- 消毒綿



- エンスプリング治療ダイアリー



医療機関から支給されない場合は主治医または看護師にご相談ください。

お薬の保管



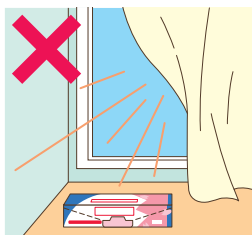
2~8℃



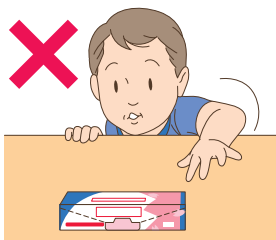
- 病院から帰宅後、お薬を箱のまま2~8℃の冷蔵庫内に入れ、保管してください。箱の中のプラスチック容器では遮光性が担保されないため、注射するときに箱から取り出してください。

- 室温で保存する場合は30℃を超えない場所で保存し、累積8日以内に使用してください。
- 冷凍庫での保管は禁止です。シリンジ内の薬液が凍った場合には、使用しないでください。冷蔵庫で保管する場合にも、冷気の吹き出し口付近には置かないようにしてください。

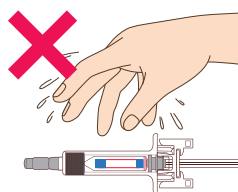
保管に関する注意



シリンジに、直射日光を当たないようにしてください。



特に小さなお子さんが触らないように注意をしましょう。



シリンジは濡らさないでください。

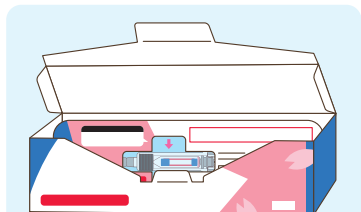
シリンジが冷蔵庫内に保管されていることをご家族全員に伝えておきましょう。

注射の準備



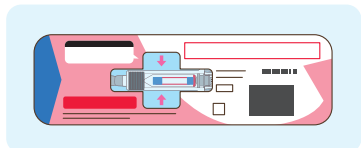
1

明るい場所で安定したテーブルを使い、テーブルの表面を清潔にします。



2

シリンジの入った箱を冷蔵庫から取り出し、箱からプラスチック容器を出して、テーブルの上に15分～30分間置き、室温に戻します。

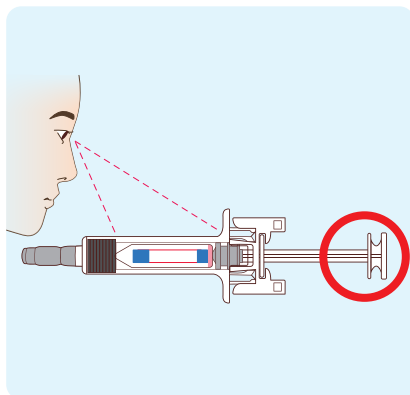


- 箱の側面に記載されている使用期限を確認します。使用期限切れのものは使用しないでください。
- シリンジを室温に戻すスピードを速めるために、電子レンジや温水などを使用しないようにしてください。



3

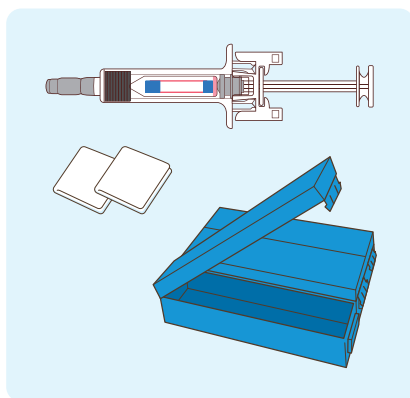
両手を石鹸で十分に洗い、清潔なタオルで拭きます。



4

室温に戻したら、シリンジをよく点検確認します。

- プランジャーを含むシリンジの後方部分(赤丸部分)に触れないでください。
- シリンジ内の薬液の色は、無色または薄い黄色です。薬液が濁っていたり、変色していたり、粒子や塊が見える場合は、シリンジを使用せず、医療機関に連絡してください。
- シリンジ内に気泡が見えることがあります。問題ありません。

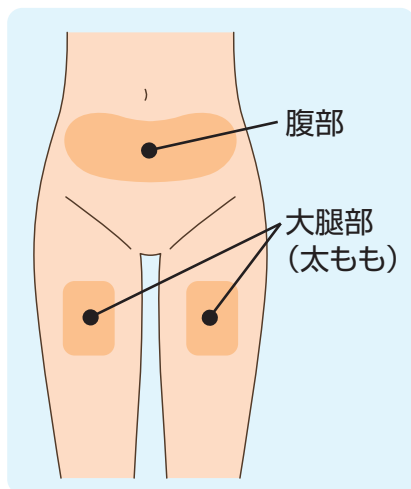


5

テーブルに自己注射に使用する器具一式を並べます。シリンジ、消毒綿、廃棄ケースが揃っているかを確認します。

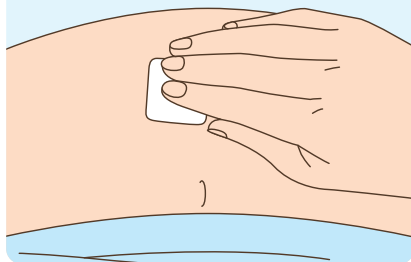
注射する部位の確認と消毒

- 前回と同じ場所には注射せず、腹部に注射する場合はへそから5cm以上離れた場所に注射してください。
- 皮膚が赤い、傷がある、硬くなっている部位には注射しないでください。



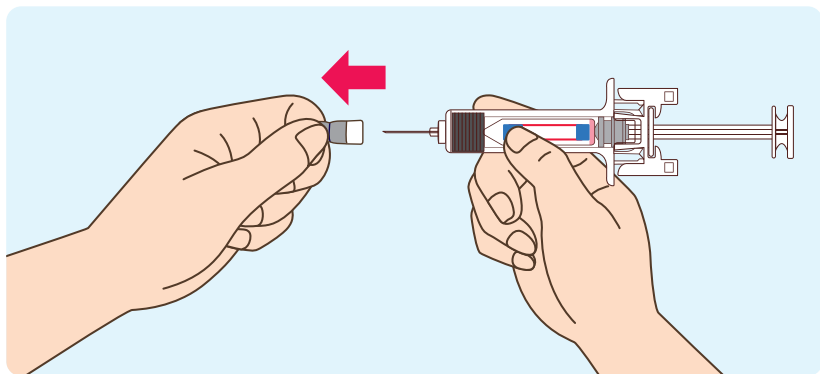
「腹部」または「大腿部(太もも)」のどちらかに注射します。どこに注射するのは主治医または看護師の指示に従ってください。

お腹への注射例



注射する部位とその周辺を、消毒綿で十分に消毒します。消毒したところは、注射するまで手を触れないでください。

注射

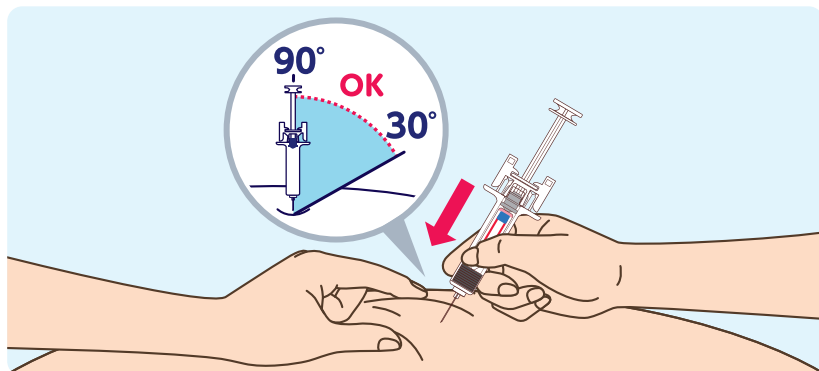


1

シリンジ本体の中心部を持ち、キャップをまっすぐに外します。キャップを外す際は、注射針を曲げないように注意してください。

取り外したキャップは、廃棄ケースに捨てます。

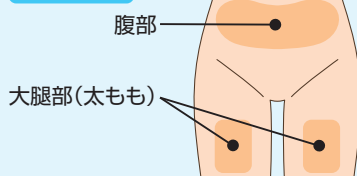
- キャップを外してから速やかにシリンジを使用してください。
- キャップを外したら、再度キャップをはめないでください。
- シリンジ内に気泡がみえることがありますが、問題ありませんので気泡を取り除こうとはしないでください。
- 針の先端に薬液の水滴がみえることがありますが、問題はありません。



2

片手にシリンジを持ち、もう一方の手で消毒した皮膚を軽くつまみ、つまんだ皮膚に対して30度から90度の角度で針を挿入します。皮膚をつまんでいた手をゆっくりと離します。

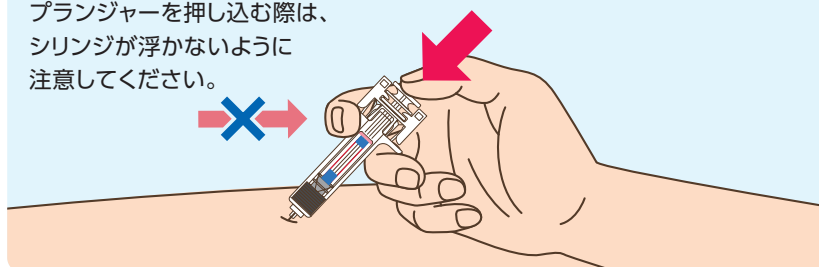
注射部位



- 前回と同じ場所には注射せず、腹部に注射する場合はへそから5cm以上離れた場所に注射してください。
- 皮膚が赤い、傷がある、硬くなっている部位には注射しないでください。

- 針を挿入している間は、プランジャーを含むシリンジの後方部分に触れないでください。
- 針を挿入したら、シリンジをその場所でしっかりと保ち、角度を変更しないでください。
- 針の刺し直しはしないでください。

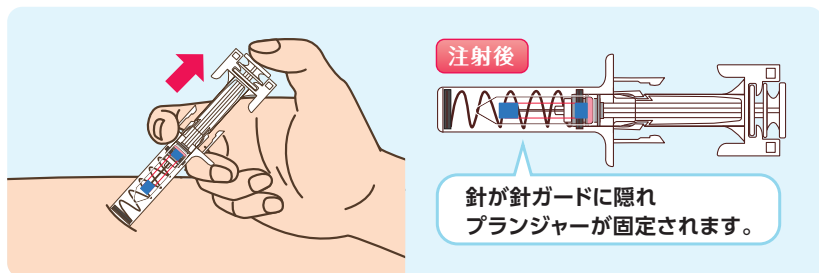
プランジャーを押し込む際は、
シリンジが浮かないように
注意してください。



3

プランジャーを押し込んで、全ての薬液をゆっくり注入してください。

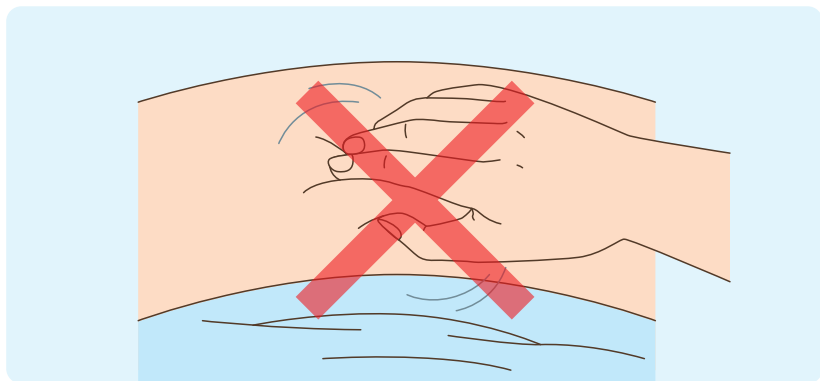
- 全ての薬液を注入するために、プランジャーを完全に押し込んでください。プランジャーが完全に押し込まれていない場合、針ガードが作動しません。



4

プランジャーをゆるやかに離してください。プランジャーが引きあがりながら針が皮膚から抜かれ、内部に注射針が格納されます。

- 注射針が針ガードで覆われない場合、シリンジを廃棄する際に誤って針で指を刺すなどないようにご注意ください。



5

注射部位を新しい消毒綿で押さえます。

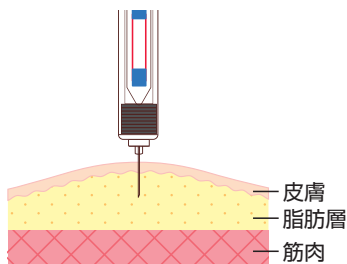
注射した部位をもむと腫れることがあるので、もまないでください。

- 必要であれば、小さな絆創膏で注射部位を覆ってください。
- 薬液が皮膚に触れた場合には、薬液に触れた部分を水でよく洗い流してください。
- もし、腫れが引かない、出血が止まらないなどの異常がみられたら、医療機関へ連絡してください。

シリンジ 自己注射のポイント

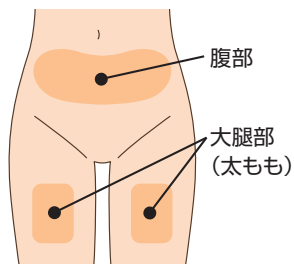
皮下注射

皮下注射とは、皮膚と筋肉組織の間にある脂肪層に行う注射です。皮下注射に適している部位は、たるみがあって柔らかく、関節や神経、血管、骨などから離れているところです。



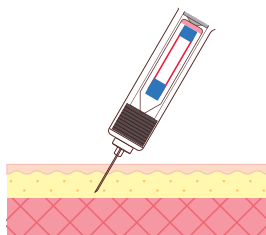
注射部位

エンスプリングの臨床試験では「腹部」と「大腿部」に投与されており、右記部位を推奨しております。具体的な注射部位は主治医または看護師の指示に従ってください。



投与角度のイメージ

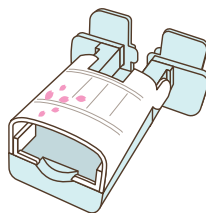
針はつまんだ皮膚に対して30度から90度の角度で挿入します。角度が浅すぎたり、深すぎたりしないように気をつけましょう。



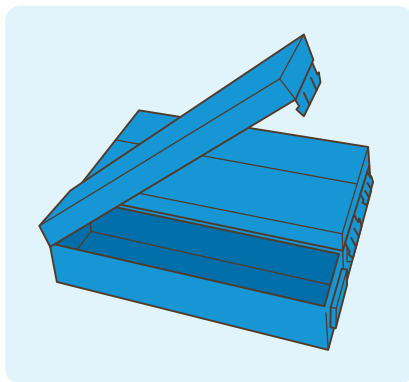
注射補助具を使う場合

自己注射を安全に行っていただくためのサポートとして、エンスプリング専用自己注射補助具「スプリングナビ」があります。

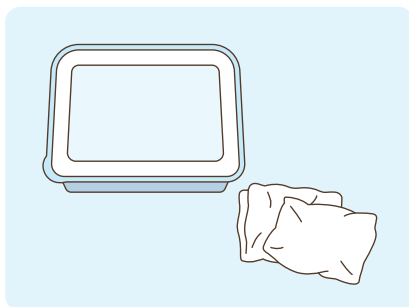
- キャップを安全に外す
- 注射する際にシリンジを固定する
- 注射針が入る深さを一定にすることが可能になります。



詳しい使用方は、「エンスプリング皮下注120mgシリンジ 注射補助具(スプリングナビ)のご使用方法」をご覧ください。



シリンジは再利用できません。使用済みのシリンジは、使用後廃棄ケースに捨ててください。シリンジは家庭ごみとして捨てないでください。使用済みのシリンジを入れた廃棄ケースは、エンスプリングを処方された医療機関の指示に従って廃棄してください。



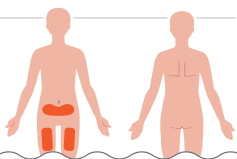
使用済みの消毒綿は、エンスプリングを処方された医療機関の指示が特にない限り、家庭ごみとして各市区町村の収集方法に従って捨ててください。

- 使用済みのシリンジは医療廃棄物です。エンスプリングを処方された医療機関の指示に従って廃棄してください。取り扱いには十分注意してください。ご家族、特に小さなお子さんが触らないようにご注意ください。
- 針刺し事故を防ぐため、キャップはシリンジに戻さず、そのまま廃棄ケースに入れてください。

体調をチェックし、 注射の記録をしておきましょう。

注射が終わったら、注射した日時と注射した部位を、治療ダイアリーに記録します。この記録により、次回の注射予定日や注射部位を確認することができます。注射前後の体調も忘れずに記録しておきましょう。自己管理に役立つだけでなく、主治医にとっても治療の経過を正確に把握する上で、重要な情報となります。なお、自己注射を実施している場合でも定期的に医師の診察を受ける必要があります。通院時には治療ダイアリーを持参してください。

・注射した日	2022 年	4 月	6 日
・体 温	36.8 度		
☐ 咳・鼻水など風邪のような症状 ☒ 吐き気や下痢、腹痛などの症状 ☐ 排尿時トラブル(痛み、残尿感、回数増加など)			
注射当日の体調はいかがですか? (上記以外の症状があれば直接記入してください)			
①と⑤の症状があった。			
今回はどこに注射しましたか? ×印をつけてください			
痛みや感覚障害がありましたか? その部位に印をつけてください			



- 注射後、体調に変化があったら、すぐに医療機関にご連絡ください。息苦しさ、めまい、かゆみ、発疹、吐き気、嘔吐などが発現する可能性があります。
- 自己注射を実施している場合でも、体調の変化を確認し適切な治療を行うために、定期的に医師の診察を受けることが必要です。

Q 予定日に注射できなかった場合はどうしたらよいですか？

A 主治医または看護師に連絡し、指示を受けてください。

Q 注射する時間に決まりはありますか？

A 注射をする時間は特に定められていません。
ただし、注射を忘れないようにするために、毎回同じ時間に決めておいたほうがよいでしょう。

Q 投与前に体調がすぐれない場合でも、予定通り注射してよいですか？

A 風邪気味である、熱っぽいなど、体調に変化を感じた場合は注射をやめて、主治医に連絡の上、指示を受けてください。

Q 薬液が目や傷口に入ってしまったら？

A 薬液が目などの別の部位に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流し、しばらく様子をみてください。
いつもと違うと感じた場合は、主治医に連絡し、指示を受けてください。

Q 投与後に体調の変化があったら、どうしたらよいですか？

A 主治医に連絡して指示を受けてください。

Q 意図せず、オートインジェクターの緑色の確認バーが動きはじめてしまいました。どうしたらよいですか？

A そのオートインジェクターは使用せず、新たなオートインジェクターを準備し、手順に従って投与してください。
また、そのことについて、主治医または看護師に連絡してください。

Q オートインジェクターを投与部位に押し付けても、薬液の注入がはじまりません。どうしたらよいですか？

A オートインジェクターが正しく押し付けられていないおそれがあります。オートインジェクターは投与部位に対して垂直(90度)に当て、しっかりと押し付けてください。
腹部へ投与する場合、皮膚が柔らかく、針カバーをしっかり押し付けられない場合もありますので、必要に応じて皮膚を軽くつまんで投与部位を固定してください。

Q オートインジェクターの注入完了時に「カチッ」と音が聞こえませんでした。問題ありませんか？

A 2回目の「カチッ」という音が聞こえなかった場合、緑色の確認バーの位置で、薬液の注入が完了しているかどうかを確認できます。緑色の確認バーが下がり、動きが止まっていれば、薬液の注入は完了していますので、問題ありません。

Q オートインジェクターの薬液注入中、緑色の確認バーが下がりきる前に、オートインジェクターを抜いてしまいました。どうしたらよいですか？

A 規定の投与量が全て注入されなかった可能性がありますので、主治医に連絡して指示に従ってください。オートインジェクターを途中で抜くことがないように、投与の際には十分にご注意ください。なお、途中で抜いてしまったオートインジェクターは再使用できませんので、専用の廃棄袋に入れてください。残っている薬液が排出されるおそれがありますので、廃棄時は取り扱いにご注意ください。

もしものときの連絡先を
控えておきましょう。

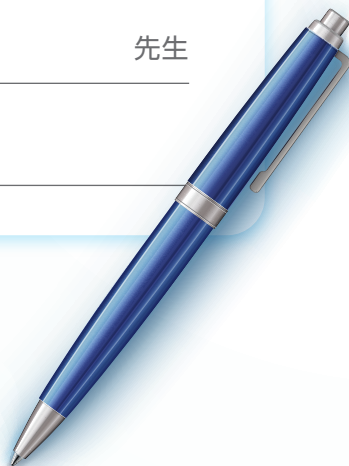
連絡先

お名前

緊急連絡先 ☎ ()

医療機関名

主治医 先生

電話番号 ()

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

エンスプリング[®]

皮下注120mgシリンジ
皮下注120mgオートインジェクター
自己注射ガイドブック

エンスプリングを
処方された患者さんへ



中外製薬

 ロシュ グループ